

# ALL for ONE

Corporate Communication Magazine  
Vol.4



NIPPON KABAYA OHAYO HOLDINGS Inc.

真の欲求を究めて、ホンモノをカタチにする

日本よ、美しくメジャーへ。



## Top Message

### ファーストラウンドを終えて ～ SMSにて～

おはようございます。

THE ROYAL GOLF CLUB、初ラウンドしました。週末から気持ちの昂りを抑えるのが大変でした。カメラが入ったり、大勢の人達に囲まれて…精神的にメチャクチャ緊張させられたゴルフでしたが、生涯忘れられないラウンドになりました。折角なので、感想をお伝えしたいと思います。

まずは練習場…アメリカ以上のドライビングレンジです。使用ボールは全球タイトリスト ProV1。大きな木の下の木蔭の芝生の上から打つ球は解放感たっぷり。プレーはもちろんのことながら『THE ROYAL TEE』フルバックからです。…コース『!!最高!!』です。海外にも無い素晴らしいコースになりました。

具体的な感想は、先ず、設計と技術の粋を集めた、極めて美しいコースになっています。視察で観るのと実際のプレーでは段違いに美しく感じました。距離は皆さんご存知の通り、タフであることは勿論ですが、コースマネジメントの戦略性とその攻略法の巧みさが要求されるコースになっています。…なのに、なぜかゴルフしやすい。

バーディーを狙う人には狙うだけ大きなリスクがあり、コースの可能性をより深く実感させられるコースであり、パーを取りに行く人にはパーを取りに行ける面白さのあるコースになりました。

(これ、ホント、セールストークじゃなく、ホント。283yd Par3←ボクも堀井さんもツーオンワンパットでPar)

何より、芝生の品質の高さが際立っています。根が締まっていて、葉が立っている最高品質の鳥取県芝。美しいバンカーと池と樹木のコントラスト。尖った無理なストレス、アンフェアな嫌味や意地悪さを全く感じない最高のシェーブが施された芸術的なレイアウト・アンジュレーション・フェアウェイ。700㎡を超えるグリーンの大きさとうねり、でも立った時の包み込まれるような温かさや優しさを感じる素直なグリーンです。どこからショットしても『ゴルフしやすい』と感じました。易しい、ラク…というのではなく、いいゴルフしたいと思えるのです。…思い出ただけでもゴルフしたくなる。そういうコースになりました。

BACK TO BASIC GOLF CAMPから始まったボク達の夢がカタチになりました。完全に生まれ変わったTHE ROYAL GOLF CLUBを存分に味わい尽くして下さい。

2016年8月17日

日本カバヤ・オハヨーホールディングス株式会社  
代表取締役社長 野津基弘





## THE ROYAL WORLD PROJECT

# 9.22 プレオープン ザ・ロイヤル ゴルフクラブコース 完成！

ここから「世界基準」へスタート



THE  
ROYAL  
GOLF CLUB

東京レジャー開発は、9月22日、茨城県鉾田市のゴルフ場「ザ・ロイヤル ゴルフクラブ」の完成を記念し、プレオープンセレモニーを開きました。

招待客や関係者など約300人が参加。琉球舞踊宮城流の伝承者、宮城茂雄さんやピアニストの斎藤圭土さんとバイオリニストのヴァスコ・ヴァッシレフさんのデュオ「Viano (ヴィアーノ)」、世界基準の人たちが集まり演奏し、会場を盛り上げました。大雨の中でのイベントでしたが、参加者も「こんなに盛り上がったイベントは見たことがない」と大絶賛でした。

野津基弘社長は「プロフェッショナル集団が知恵と技、情熱と英知を結集し、世界に誇れる日本最高峰のゴルフ場を完成させました。コースづくりでこだわったのは、難しさよりも美しさです。ぜひコースをプレーして、美しいゴルフ場を体験してください」とあいさつしました。

来春には改修中のクラブハウスも完成する予定で、グランドオープンに向けて、着々と準備が進んでいます。



## レセプションを終えて

台風16号が向かってくるさなか、中止にするか決行するかを21日正午に決定した。台風は通り過ぎ、台風一過を期待しながら、スタッフ全員で作業を続け、徹底的に当日のオペレーションのシミュレーションを繰り返した。残念ながら曇り空と雨であったが、プレオープンDAYを迎えられた喜びと笑顔でパワーに朝6時から進められた。

想定以上に早い時間から来場されたお客様への対応。予定来場者250人の殆どが参加してくださった。お祝いの花の多さにも驚いた。雨に濡れないように会場内に運び込み並べる係員。小貫くんが経営するスポーツハウスのスタッフたちの無駄のない動き。また、小貫くん自身は、司会の秋沢淳子さんと

テキパキ打ち合わせをこなしてくれた。何よりも感動したのは、舞台照明! スタッフのセッティングは、雨にも負けないセンスの良いセレモニーにふさわしい明るくキレイなセッティングだった!! そして、会場を彩るクリトモの料理、凜とした温かいおもてなしをしてくれたミスワールド日本代表と準ミスワールド日本代表・・・本当にありがとう。

友人の宮城茂雄氏、そしてヴァスコ・ヴァッシレフ氏と斎藤圭土氏のVianoのリハーサルもテンションが上がった。そして、いよいよレセプションがスタート。王家琉球舞踊の代表者の一人、宮城茂雄氏による「祝舞」。初めて観る人でもこの格式の高さを感じられる踊りから始まった。

そして事故もなく無事工事を完了してくれた工事業者の方々に感謝状を贈呈。北白川道久様の「世界基準のゴルフコースに



ロマンを感じています。日本人のゴルフ技術向上に役に立つのではないのでしょうか」と力強くあいさつしてくれました。急遽駆けつけてくれた衆議院議員、額賀福志郎様の「雨降って地固まる」といいます。ぜひ、2番ではなく1番を目指してほしい」の言葉に勇気もらい、銚田市長の鬼沢保平氏からは「地域を挙げて、全面的にバックアップします。協力は惜しみませんよ」との言葉を頂いた。葛根政雄氏は「日本、アジアを吹っ飛ばして世界のステージへあげろ!」と乾杯のあいさつをしました。岡本一宣氏は「ここでプレーするゴルファーが格好良くなるようなデザイン、たたずまい、風合いをテーマにした演出を目指します。楽しみにしてください」。杉本貴志氏は「風合いやたたずまいあるクラブハウスを期待してください」。松口正氏は「大阪から日帰りでプレーが出来るので、いつでもここで楽しめます」と各氏が想いを語ってくれました。

斎藤氏はオープンを記念して「夜明け」という曲をこの日のためにつくってくれた。そしてVianoの瞬間にして会場を一つにまとめた演奏…圧巻でした。ヴァスコ氏は、史上最年少の23歳でThe Royal Opera Houseのコンサートマスターに就任。ブルガリア本国での凱旋コンサートは、毎年1万5000人が集まる英雄である。

一瞬にして観客を魅了する世界を代表する演奏は、まさにこの「THE ROYAL GOLF CLUB」の目指す姿カタチをこの演奏に観た!! これ以上ないスタートが切れたと誰もが実感し

たでしょう。大雨の中、来場してくださった方々の熱気はそのまま我々への期待と可能性の大きさと感じました。プレオープニングレセプションは、大盛況と大成功。このコース、クラブが世界に誇るコースになる意志は、宮城氏が踊り、Vianoが演奏してくれたことで世界基準になる意志を明確に伝えることが出来ました。

トークショーでは、プロジェクト主要メンバー5人がそれぞれ世界基準に向けての抱負を語りました。そして、このTHE ROYAL GOLF CLUBは、ブランド構築をスタートしました。我々グループ全体で、このコースを創り上げていくことが、これからの使命だと実感しています。

サインの看板一つ、姿勢・言葉遣い一つ、笑顔一つ、サービス・商品一つずつがこのブランドを支え築いていき、魂のこもったクラブライフになります。一つでもいい加減なことをしたら、一瞬にして崩壊してしまう。安売りしてしまったら、このコースは世界基準の価値を失ってしまう。それだけ自らの仕事に対する愛情と覚悟が重要だということです。

みんな大雨の中、傘をさしながら本当に一生懸命対応されていました。大変だったと思います。ご苦労様でした。しかし、当社の役員が会場内でお客様との会話が少なかったことは、非常に残念でした。これからは社内でも社外でも人に壁を作らず、礼儀と道理をもてば、人としての幅、拡がりをもつことが出来ます。応援される仕事を貫いていきましょう!

ONE for ALL

プロゴルファーを目指し、今年、東京レジャー開発に入社した松田一将さんが、9月のプロテストに合格し、ツアー出場に向けて新たなスタートを切りました。

まずは、下部のクオリファイングトーナメントで上位を目指すため、キャリア290ydsと得意のパターに磨きをかけるなど、日々猛練習しています。目標はレギュラーツアートーナメント優勝。松田さんは、「ツアー優勝して、採用してくれた会社に応援したい。これから一生懸命頑張るので、グループ会社の皆さん、応援よろしくお願いします」と話してくれました。

プロゴルファーとしての初陣は10月3日。松田さんの活躍を全グループ社員で応援していきましょう！



松田 一将 【東京レジャー開発所属プロゴルファー】



松田一将 (まつだかずまさ) /  
父親の薦めで14歳からゴルフを始める。2009年、ゴルフ部の名門校、大阪学院大学高校に入学。16年に同大学を卒業後、東京レジャー開発に入社し、1年目でプロテストに合格。大阪府出身。22歳。

あなたのアイデアで  
会社を変えよう！

「現場でこんな問題がある」「自分のアイデアを聞いてほしい」「こんな新しいことにチャレンジしたい」など、社員の意見、要望を吸い上げ、良いアイデアはすぐに実行していく考えですので、どしどしアンケートにご応募ください！



Photo by

**宮本 卓** (ミヤモト タク)

Taku Miyamoto

ゴルフフォトグラファー

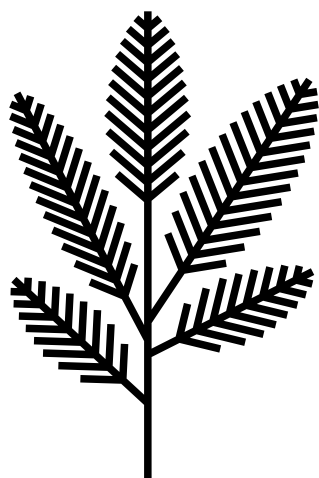


和歌山県生まれ。神奈川大学を経てアサヒゴルフ写真部入社。1984年に独立し、フリーのゴルフカメラマンになる。1987年より海外に活動の拠点を移し、マスターズ、全米オープン、全英オープン、全米プロといったメジャートーナメントを多数取材。ゴルフゲームを追うだけではなく、光と影を巧みに利用しその奥に潜む人間の心理を表現している。

2002年よりPebble Beach Golf Linksのライセンス・フォトグラファー



THE  
ROYAL  
GOLF CLUB



THE  
ROYAL  
GOLF CLUB

## THE ROYAL WORLD PROJECT

# ビッグプロジェクトだからこそ楽しみたい！

岡本 一宣さん 【岡本一宣デザイン事務所 アートディレクター・グラフィックデザイナー】

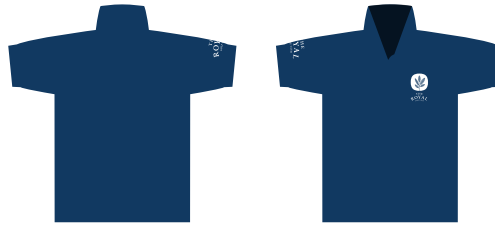
ついにコースが完成したザ・ロイヤル ゴルフクラブ。今回、ゴルフ場のロゴデザインをはじめクラブハウスの内装などをプロデュースする岡本一宣さんに、ロゴデザインのコンセプトやデザインに対する考え方などを聞きました。



キャップ／スタッフ用



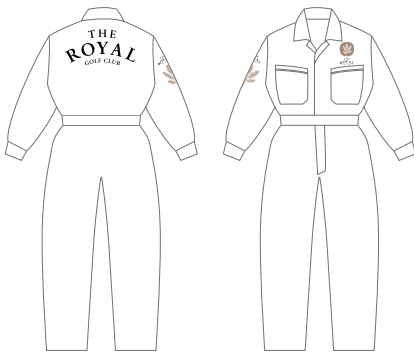
ポロシャツ



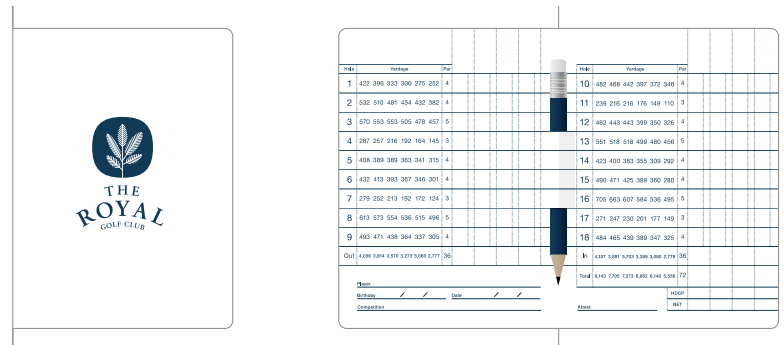
ピンブローチ



つなぎ



スコアカード



ーまずは、プロジェクトに対してデザインディレクションの依頼があったときの感想を教えてください。

これまで多くの企業ブランディングに関する仕事に携わってきました。その中で、個人的にゴルフは大好きなので、自分の好きな仕事ができると思い、うれしかったですね。ただ、依頼を受けた時はどこまでのデザインに携わるのかなど具体的なことは分かかっていませんでした。コースを一から作り直し、クラブハウスも全面改装すると聞いた時には驚きましたよ。それと同時に、すべてのデザインに関わる重責も感じました。だからこそ、この仕事をやりたかったです。この歳になってもチャレンジできるチャンスをもたらるのは有り難いことですからね。

ー岡本さんがプロジェクトへ参加したのは、ロゴマークが一旦決まった後でした。プロジェクトの途中から参加する異例な案件に対して難しさはなかったのでしょうか。

ロゴデザインが決まっていたので、正直悩みました。ロゴはゴルフ場の「看板」ですからね。そのデザインによってエンドユーザーのイメージが決まってしまう。決定していたロゴは「鳳凰」をモチーフにしていた、デザイン自体は悪くありませんでしたが、コンセプトの意味をデザインで表現し過ぎて、インパクトが強すぎる印象でした。そこで野津基弘社長に、ロゴのデザインを一度提案させてもらえないかと打診したのです。野津社長も良いアイデアがあるのなら、ぜひお願いしますと快い返事だったので、事務所のデザイナー全員で新しいロゴデザインにチャレンジしました。

ー新しいロゴデザインはコース内にある象徴的な木の「センパルセコイア」の葉をモチーフにしていますね。こういったコンセプトなののでしょうか。

鳳凰のマークは、高級感やハードにトレーニングするアスリートを連想させる感じでした。ゴルフは自然の中で遊ぶスポーツですので、「自然感」をイメージできるデザインを考えたのです。プレーヤーをやさしく包んでくれるような植物をモチーフにして、だれもが親しめるチャーミングなロゴにしたかったのです。コースを見渡すとセンパルセコイアの木が多かったので、その葉をモチーフにしました。センパルセコイアの葉は、日光をさえぎらず、風通しを良くすると聞いたのでイメージにピッタリでした。



### ーロゴデザインは、最初から絞り込んで作成したのですか。

いいえ。最初は、事務所のデザイナーに大きなテーマだけを共有して、自由にアイデアを出してもらいました。制作期間は約1カ月半で、最終的に150以上のデザイン案を出しましたよ。そこから何点かのデザインを絞り込んで、そのロゴでグッズ展開したらどうなるかを検証するため、試作品で缶バッジを作ってみたり、ロゴを作成する時には、帽子やタオルなど具体的に使われる商品を一度作ってみたいとどういった仕上がりになるか分かりませんからね。

### ーデザインで心掛けていることはありますか。

デザインを頭で考えて、無理やり編み出すようなことはしません。アイデアを出すということは、状況を整理することです。それにより、新しいことを“発見”することができ、面白いアイデアに気付くのだと思います。人

間には好き嫌い、得意不得意があります。私も一人の人間ですので、常に斬新なアイデアを生み出せるわけではありませんからね。

### ー多くの雑誌編集に携わっていますが、冊子づくりで心掛けていることは。

誌面上に情報を載せすぎないようにしています。例えば、スポーツ選手は、その選手の手だけを載せ、読者がその選手の躍動的な姿を想像するように仕掛けるのです。雑誌を見た読者が良いイメージを想像することで、その媒体のデザインを完成させるのがデザイナーの仕事だと思います。

### ー岡本さんにとって、デザインとは。

デザインは、「心技体」ではないかと思っています。心を常にリラックスした状態にすることでアイデアを生み出し、

技術は、文字通り、表現する文字や絵、写真など素材を組み合わせる技術。そしてそれをやり切る体力。この3つを体現するためには、常に自分をニュートラルにしなければなりません。どのような案件にも柔軟に対応できるようにできれば、難しい仕事でも楽しみながら取り組めると思っています。



岡本一宣（おかもと いっせん）／

1974年武蔵野美術大学造形学部卒業後、79年に岡本一宣デザイン事務所を設立。一般誌、PR誌、書籍や写真集などの出版メディアを中心に、企業のCI、VI、ブランディングづくりなどメディアプロデュースを手がけている。長崎県出身

# 圧倒的に美しいゴルフコース 世界に誇れる“財産”ができた



日本カバヤ・オハヨーホールディングス株式会社  
取締役副社長

東京レジャー開発株式会社 取締役副社長

**堀井 秀則**



2015年8月に始動した「THE ROYAL WORLD PROJECT」。通常2年ほどかかる工事を約9ヵ月という異例の工期にもかかわらず、さまざまな人の協力で、9月、「ザ・ロイヤルゴルフクラブ」がついに完成しました。今回、プロジェクトリーダーで東京レジャー開発副社長の堀井秀則さんに、新コースをラウンドした感想や今後の展開などを聞きました。

ー待望のコースが完成しましたね。プロジェクトリーダーとしての感想は。

いよいよスタート地点に立ったという気持ちです。完成するまでいろんな人に苦労したのではと言われましたが、私は苦労したと思っていません。このプロジェクトに関わっているコース設計の長渡譽一さん、プロゴルファーの鈴木規夫さん、スポーツトレーナーの廣戸聡一さんは、それぞれが何をすればいいかはっきりしています。私を含めた当社スタッフとの信頼関係も築けているので、仕事に関しては以心伝心でスムーズに取り組めたと思っています。ただ、ゴルフ場をより良いものにするため、微調整はしました。妥協を許さない仕事を徹底していますからね。

ー新コースをラウンドして、どんな印象を持ちましたか。

とても美しいコースができたと思っています。ゴルファーは、まずこの美しさに圧倒されますよ。私はいろんなゴルフコー

スでプレーしてきましたが、プレーヤーがこのコースのティーグラウンドに立った時、本当に驚くと思います。

戦略性に富んだコースでありながら、なおかつ美しい。アマチュア、プロゴルファーともに魅了できる素晴らしいコースだと自負しています。

ー今後、このコースでどのような展開を考えていますか。

ゴルフ場が完成したことで我がグループ会社は、世界に誇れる“財産”を手にしたと思っています。今後、グループ企業が発展するためのベースになるでしょう。必ず社員のモチベーションアップにつながると信じています。また、ソフト面では、ゴルフを通じて健康管理ができるプログラムの作成なども実施したいですね。もちろん、世界に通用するプロゴルファーの育成にも取り組んでいきます。ハードのPRだけでなく、ソフト面でもさまざまなことにチャレンジし、ゴルフ業界に対する新しい提案ができる企業として、さまざまな情報を発信していきます。

ーザ・ロイヤルワールドプロジェクトの最終目標は。

ザ・ロイヤルゴルフクラブを、日本を代表するゴルフコースとして世界中のゴルファーに知ってもらえるようにしたいです。私はできると信じています。それだけのゴルフ場だと自信を持って言えます。これからの活動に期待してください。

## ミス・ワールドジャパン2016 日本代表選考会



カバヤ・オハヨーグループがスポンサー契約を結んでいるミス・ワールドジャパンは、9月5日、2016年の日本代表選考会を開きました。

応募総数約7000人の中から代表に選ばれたのは、インドと日本のハーフでモデルの吉川ブリアンカさん。ブルーのロングドレスで最終選考に挑み、グランプリに選ばれ、「家族や友人など応援してくれたすべての人に感謝したい」と涙ながらにあいさつしました。

受賞後には、ファイナリスト31人がカバヤ食品とオハヨー乳業のお気に入りの商品を持って記念撮影しました。今後は商品展示会などでの商品をアピールしてもらうなど、グループ会社のPR活動にも協力してもらう予定です。

## 取引業者集め事業方針報告



エス・バイ・エル・カバヤは、9月9日、取引業者を集め、今後の事業方針を報告する合同研修会を開きました。

各取引業者との団結力を高めるために実施したもので、工事業者ら約300人が参加しました。10年後に目指す会社の姿や新たな木質建材「CLT」を使った木造による総合建設市場への挑戦などを説明。また、ブランド強化のため、品質の向上や施工時の安全対策の徹底などを伝えました。

窪田健太郎専務は「何事も1番にならないければ、人の記憶に残りません。これからも協力し合い、建設業者としてナンバーワンを目指しましょう」とと熱い思いを語りました。

## 成長期応援ヨーグルト「セノビック」サンプリング



オハヨー乳業は8月下旬から、「成長期応援ヨーグルト セノビック」のPRのため、全国各地で商品の無料配布を実施しました。

営業担当や本社社員らが一丸となり、全国各地のスーパーや、子どもたちが集まる遊園地、スポーツ大会の会場などにおいて、自分たちの手でサンプリングを実施。この商品は、成長期の子どもたちにとって大切な栄養素を配合しており、その機能性を広く知ってもらうための取り組みです。ヨーグルトを試食した子どもたちからは「おかわり〜!」といった声も上がり、保護者からも「普段はヨーグルトを食べないのに、この商品はおいしそうに食べている」と味への評価も上々で、機能性についてのより具体的な説明を求められるなど好評でした。

今後も、このような活動を通して、従業員が直接消費者との接点を持つことで、よりB to Cを意識した事業活動に取り組んでいきます。

## ●「ALL for ONE」について

膨大な情報があふれる社会で、今、本当に伝えたい事を切り取りインパクトを以って皆に伝える。

同時に、3000人の従業員一人ひとりに焦点を当てて皆で支えていく、そのために発行したのが ALL for ONEです。

現場の意見や解決したい問題など、  
誹謗中傷以外、全て受付ています。

### 日本カバヤ・オハヨーホールディングス

社長室 担当:北山

FAX:086-231-4783

Mail: [info@kabaya-ohayo.jp](mailto:info@kabaya-ohayo.jp)

## 編集後記

雑誌や有名企業のPR誌など数々の紙媒体でデザインに携わり、第一線で活躍し続けている岡本一宣さんへのインタビューはとても刺激的でした。編集に携わる身として、トップランナーに話を聞ける喜びと同時に、仕事術を盗んでやろうという思いも隠し持ちながらのインタビュー。その中で一番印象に残った言葉は「誌面には、自分が表現したいことすべてを盛り込まない」でした。読者に想いや情報を伝え切るため、あれもこれもすべて載せたいと考えがちですが、岡本さんは、「雑誌を見て、読者が何かを想像することでその誌面は完成する。誌面の向こうに読者がいるということを常に考えなければならぬ」と話していました。約1年を掛けてつくり上げたザ・ロイヤルゴルフクラブ。今はコースが完成しただけです。本当の意味で“完成”させるにはどうしたらいいのでしょうか。このゴルフ場をただの遊び場にするか。それともグループ企業の財産として、各企業が有効活用を模索するか。基弘社長が思い描く「THE ROYAL WORLD PROJECT」を全社員が真剣に考えなければ、グループ企業の発展はありえません。(細川)

表紙写真: THE ROYAL WORLD PROJECT

### 日本カバヤ・オハヨーホールディングス株式会社

本社 岡山市北区駅元町1-4 ターミナルスクエア11階

電話 086-223-7131

Website <http://kabaya-ohayo.com/>

### カバヤ食品株式会社

本社 岡山市北区御津野々口1100

電話 086-724-4300

Website <http://www.kabaya.co.jp/>

### オハヨー乳業株式会社

本社 岡山市中区神下565

電話 086-279-1231

Website <http://www.ohayo-milk.co.jp/>

### エクセルバック・カバヤ株式会社

本社 岡山市中区雄町394-12

電話 086-279-8900

Website <http://www.exl-kabaya.co.jp/>

### 株式会社スクエアビル

本社 岡山市北区駅元町1-4 ターミナルスクエア11階

電話 086-224-0371

Website <http://www.square-building.com/>

### フジ物流株式会社

本社 瀬戸内市長船町長船1177-2

電話 0869-66-0222

Website <http://www.fujibutsuryu.jp/>

### 東京レジャー開発株式会社

本社 東京都中央区日本橋小網町10-2 日本橋フジビル5階

電話 03-3669-2964

Website <http://tokyo-leisure.jp/>

### エス・バイ・エル・カバヤ株式会社

本社 岡山市北区中仙道2-9-11

電話 086-241-8811

Website <http://www.sxl-kabaya.co.jp/>

### 株式会社イケダペットファーム

本社 東京都中央区日本橋小網町10-2 日本橋フジビル6階

電話 03-5614-7165

Website <http://www.ikedabokujou.co.jp/>

### トータルアシスト・カバヤ株式会社

本社 岡山市北区下石井2-1-3 岡山第一生命ビルディング11階

電話 086-235-4422

### 株式会社瀬戸内海経済レポート

本社 岡山市北区西島田町8-9

電話 086-805-6188

Website <http://www.visionokayama.jp/>

### 三友学園グループ

専門学校岡山情報ビジネス学院

住所 岡山市北区駅元町1-4 ターミナルスクエア1階, 3～12階

電話 086-224-2336

Website <http://www.oic-ok.ac.jp/>

クラーク記念国際高等学校 岡山キャンパス

住所 岡山市北区島田本町1-2-12

電話 086-239-1623

Website <http://clark.oic-ok.ac.jp/>

希望高等学園

岡山校 住所 岡山市北区幸町9-1 幸町会館4階

電話 086-232-8135

津山校 住所 津山市大手町11 みつやビル2階

電話 0868-35-2380

Website <http://www.oic-ok.ac.jp/kibou/>

### 株式会社システムメイト

本社 岡山市北区芳賀5325-1 岡山リサーチパーク9-1

電話 086-286-9131

Website <http://www.system-mate.com/>

### 日本カバヤ・オハヨーホールディングスグループ

#### Corporate Communication Magazine "ALL for ONE" Vol.4

発行: 2016年10月11日

制作: 「ALL for ONE」編集室

〒700-0981 岡山市北区西島田町8-9

(株)瀬戸内海経済レポート内 ☎086-805-6188 FAX 086-805-6177